



衣川台だより

発行日：平成27年12月1日
発行者：衣川台自治会 総務部
世帯数：310世帯

平成27年度 第19回

仰木の里学区市民運動会

総合成績 第10位 で終わる

去る10月11日（日）に「仰木の里学区市民運動会」が行われました。台風の影響で心配されていた雨も降ることはなく、時々お日様も観覧されますが少し肌寒い日差しの中、会場内は参加者・応援者の方々の熱気が充満し、楽しい一日となりました。得点種目・自由種目と積極的にご参加いただいた皆様、又、朝早くの開会式から夕方の閉会式まで参加いただいた応援者の皆様、本当にありがとうございました。



《 開 会 式 》
優勝目指して、さあやるぞ！！



《 みんなでジャンプ 》
ここまでは息があっただんですけど…



《 ジャンボボールリレー 》
一生懸命やってるんですけどネエ？
行先はボールに聞いて！！



《 玉 入 れ 》
皆さ～ん 口は開けなくてもいいですよ
がんばってえ～！ がんばってえ～！



《 くぐって、くぐって 》
上手にくぐり抜けられました！



《 満水レース 》
あわてずに！ はやく！ がんばって！



《 昼食風景 》
さあ 一息いれてがんばろう！



《 応援席 》
選手と応援席が一体になっていました



《 綱引き 》
後方に控えた女性人の重さ？も役にたたず？？？

2015/10/11

軽スポーツ大会 の結果報告

少し秋らしくなった9月13日(日)仰木の里東小学校で「インディアカ」「グランドゴルフ」が開催され、衣川台自治会からも有志の方々にご参加いただきました。

インディアカの部

(Aコート)

- 1位 中央
- 2位 衣川台A
- 3位 東7丁目

(Bコート)

- 1位 仰木台
- 2位 衣川台B
- 3位 合同

グランドゴルフの部

- 1位 里西
- 2位 衣川台
- 3位 仰木台
- 個人2位 岡田 融さん(10組)



仰木の里フェスタ 2015

秋晴れの10月18日(日)仰木の里御呂戸川緑地公園において、来賓に越津市長を迎え Kidsダンス、仰木の里・里東幼稚園のうたをかわきりに楽しく開催されました。当自治会からは、昨年に引き続き江州音頭やフラダンスのうら若き乙女達にご参加いただき、楽しい一日となりました。



仰木の里学区 第19回

10月31日(土) ~ 11月 8日(日)

(菊花展は 10月30日(金) ~ 11月10日(火)まで)

「文化祭」 開催される

10月31日から11月8日の9日間(一部菊花展は10月30日から11月10日)、仰木の里学区文化祭が仰木の里市民センターで開催されました。

我が衣川台自治会よりは展示の部へ15名の皆様方よりご展示いただき他の自治会参加者を圧倒、多種多彩なご趣味のご披露となりました。ご参加いただきました皆様、次年度の作品も楽しみにしております。



老人クラブに課せられた2つの“うねり”

衣川台老人クラブ
山口 信治

1つは、老人クラブの会員を100万人に増加しようという“うねり”です。
もう1つは、老人クラブの「新地域支援」活動への取り組みです。

前者は全国に会員数が平成10年887万人から平成25年に650万人へと激変、
そこで平成30年までに750万人に増員しようという運動です。

後者は超高齢社会における担い手として“4つのづくり”運動です。まず第一は、
健康づくり、第二は生き甲斐づくり、第三は仲間づくり、最後第四は地域づくりだそう
です。

【健康づくり】

滋賀県永源寺町では高齢化率50%、2人に1人が65歳以上の高齢者だそう
です。どうするのかその対策の1つとして、災害時ひとりで逃げ出せるよう普段
から体力がつくようにと“防災体力”運動を展開しています。

【生き甲斐づくり】

高齢者にとって大事なのが高齢期の充実・生き甲斐づくりです。ご覧になられ
ましたか？ 1月の仰木の里での文化祭に衣川台の高齢者たちの作った作品等
生き甲斐を証しするものでしょう。

【仲間づくり】

仲間づくりはクラブの例会での会員同士の安否確認、忘年会や新年会、旅行等
のまじわり、高齢期を迎え撃つための学習に、そして地域の活動、清掃やリサイ
クル、児童や学童との世代間交流等立派に担い手として働いています。また、会
員の顔がみえねば訪ねていく友愛訪問の活動等々の多様な社会貢献をしています

【地域づくり】

心強いのは安全・安心の町づくりに心砕いておられる自治会さん、その防災組
織に高齢者がどれほど感謝しているか。

どうやら国のねらいは超高齢社会をみすえて高齢者の役割として要援護者への支援の担
い手を養成しようというのでしょうか・・・

そこで衣川台老人会クラブでも新しい挑戦として
3つの矢を提案したいのです。1つ目はクラブの中
心となる75歳以上の方々のパワー、2つ目はクラ
ブ会員の大半を占めている女性たちのパワー、3つ
目はヤングオールド（若手）たちの創造（新しいこ
とをつくりだしていくエネルギー）のパワーに期待
するところ大です。これらの3つのミッション（使
命）にぜひ入会してパワーを貸して頂きたいのです。



「傾聴」と「共感」について

民生委員児童委員 飯田 雅史

民生委員児童委員 田村 重喜

みなさんから相談を受ける場合、私たち民生委員児童委員として心がけていることの一つに、「傾聴」と「共感」があります。今回は、みなさんと一緒に、この「傾聴」と「共感」について考えてみたいと思います。

心の傷

今日、大きな事件や事故などに遭って家族を失うとか、或いは治る見込みのない病に侵されるような、極めて強いストレス状況に陥ることは、稀な事ではありません。

この、さまざまな困難に直面している人々が、周囲の人々や支援する立場の人から心を傷つけられ、本当に助けてくれる人などいるのだろうかとの思いに陥ることがあります。このような状況を、心に傷を受けたといいますね。

たましいの痛み（スピリチュアルペイン）

心の傷み。それが傷であるならば時とともに、或いは治療すれば治ります。しかし時にそれは心の痛みとして残り、たましいの痛みとして残ります。例えば、PTSD（受傷後ストレス症候群）などとなって、長く苦しみから逃れることが困難となってしまう場合があります。WHO（世界保健機構）でも、健康の定義を見直し、新たに霊的（スピリチュアル）という概念を盛り込みました。すなわち「霊的な領域は、人の健康を左右するものである」という考え方が認識されるようになりました。痛みを伴う事件や事故など、受け止め方は人さまざまであり、相談を受けるものとして、その方の主訴を理解することはなかなか困難なことです。

「傾聴」と「共感」

では、相談を受ける場合に必要な「傾聴」とは何か、或いは「共感」とは何か？
「傾聴」とは、このような様々な困難に直面している人々に接し、その思いに耳を傾けることです。また「共感」とは、このような人々の立場に立ち、そこから見てくるものを感じ取ろうとすることです。この場合、感情や思いだけでなく、その方の生活状況や経験などできるだけ幅広く理解しようとする姿勢を持つことも、共感を生む大切な要素となります。

エンパワーメント（人が生まれながらにして持っている潜在力）

では、傾聴し共感してできることは何なのでしょう？
相談を受けるものができることは、一時的に添え木のように相談者を支えることです。そして、問題の解決、回復に向けて動くのは、相談者自身です。心の痛みを受けた相談者は、その多くが自律心を失っておられます。従って、その相談者が自律心の回復の道筋をたどれるように、相談者に寄り添うことが何よりも大切と考えております。すなわち、エンパワーメント、人が生まれながらにして持ち生涯にわたり発揮することができる潜在力を取戻し、一人の一人前の人間としてもう一度生きていく自信を回復できるように支援していくことと考えています。

私たちの地域においても当然悩みを持った人はおられます。一人でも多くの方々に傾聴し共感できる力を、地域の支え手として持っていていただければと願っております。

かわらばん

新春恒例！百人一首大会

日時；2016年1月8日（金）13：30～15：00
場所；衣川台南自治会館
参加費； 無 料 　　どなたでも参加いただけます

こんにちは。想いをカタチにするサークル寺子屋です。
11月1日、北自治会館でお餅つきをしました。幼児から年配の方まで約60名の参加となり、伝統行事を祖父母世代から親世代へ、そして子世代へと繋がる異世代間交流となりました。　　ご協力頂いた衣川台の餅つき名人の皆様、ありがとうございました。

次回の寺子屋は・・・

毎回好評の百人一首大会を新年早々行います。100枚取りの源平合戦です。初心者からベテランまで、レベルに応じて対戦します。大人の方の参戦も大歓迎！　さぁ真剣勝負！！

皆様のお越しをお待ちしています。

* * 百人一首をお持ちの方はご持参下さい * *

スタッフ 9組；星川 弘美・14組；吉田 祥代・2組；須藤 洋子

みんなで元気に太鼓を打とう！！

衣川台太鼓倶楽部
代表 田村修二(7組)

春祭り、夏祭りも終わり、今年も残り少なくなりました。もう今年の出番はありませんが、メンバーはみんな元気に練習に励んでいます。

仰木太鼓(集来)、雨ごい、三宅太鼓、更には仰木太鼓(宮立ち)にも挑戦しています。すぐにはうまく打てなくても気持ちを合わせてぴったり音が合った時は「やったー」とみんなで喜ぶのも楽しいことです。休憩時間に悪ふざけするのは、もっと楽しそうですが……

楽しく、地道に少しずつ練習を重ねて、また来年もお祭りで活躍してくれることを願っています。練習は原則毎月第一・第三土曜日の17時～18時(南自治会館)。自治会掲示板にも案内を掲示しています。どなたでも気軽に練習を覗いてみて下さい。大人も大歓迎です。



松韻会(衣川台謡曲同好会)の活動報告

今年度幹事：安藤 實

この秋は2回の遠征活動をしました。10月10日に琵琶湖対岸の守山市で能面打ちの菅原先生のご講演があり、その後に能楽のバックコーラスとしての小謡を披露しました。曲名“三井寺”から見る守山の景色を愛でる道行と、もう一曲は漁師から返して貰った天の“羽衣”を纏った天女が三保の松原の上空、富士の高嶺を舞い遊ぶ風景などです。会場から「良かったよ」と声がかかり、お互いに楽しみました。

又、11月23日は真野文化祭に協賛の形で、和邇・真野・堅田・衣川台の合同発表会に出演しました。師匠・12組の三林隆夫先生からのご指導で、“鉄輪(かり)”という怨念のこもった難曲を、力強く謳いあげました。先生はこの9月に卒寿を迎えられました。目下体調を崩されて施設にてお過ごしですが、先生の個室での練習の成果が出たかなと自画自賛です。先生の一日も早く健康を取り戻される事を祈っております。

自治会からのご連絡

「福祉部準備委員会」をスタートします

自治会長 荒川 靖久

「福祉部」の設立について更に検討を進める為に準備委員会をスタート致します。地域における、通学児童・独居高齢者・認知症高齢者・その他特別な事情を抱える世帯などの見守り活動を行い、福祉課題の解決に向けて取り組んでいくことを目的に、自治会の福祉関係委員の職務を福祉委員に移して「見守り活動」強化の一助とし、自治会の存在意義を地域住民にアピールし自治会の関心を高め、自治会未加入の世帯の加入を促す事にも役立てます。又、組長ほか自治会役員の負担軽減にも繋がります。具体的なことは準備委員会スタート後の協議、検討の中で明確になっていくものと思いますが、誰もが安全・安心に暮らせる衣川台を目指し、地域福祉力を高めていく事が重要です。

尚、スタート時点での委員としては、飯田雅史様(2組)・田村重喜様(11組)のお二人にご了承頂いております。

■ 総務部からのお知らせ

- ・新入会員様
3組 永尾 忠之様(10月)
- ・転出による退会者
2組 矢野 昭二様(8月)
13組 尼崎 省二様(9月)

- ・9月初旬にお願い致しました「赤い羽根共同募金」、大変多くの会員様にご協力頂き有難うございました。10月20日に滋賀銀行堅田駅前支店を通じて無事に納入致しましたことをご報告させていただきます。

赤い羽根募金金額 ￥81,338

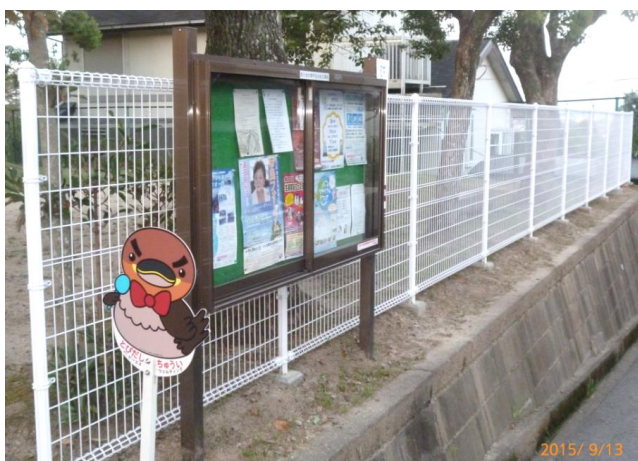
・お願い

- * 南自治会館の駐車スペースをご利用の際は、駐車理由・駐車時間を自治会長もしくは総務部長にお声掛けをお願いいたします。なお、駐車期間中は緊急で車移動をお願いすることもありますので、持ち主様のお名前と連絡先が解るようにしておいて下さい。
無断での駐車はご遠慮下さいますようお願いいたします。
- * 自治会館ご利用時、いつもきれいにご使用いただき誠に有難うございます。しかし、最近大変残念ではございますが、一部のご利用者様の中にご利用時のまま返却いただいていることがありました。自治会館は会員様皆様のための施設です。次の方が気持ちよくご利用いただけるよう元の状態にしてご返却いただきますようお願いいたします。

■ 環境保全部からのお知らせ

文責：安藤 實

- ・ 毎年恒例の年末一斉清掃を、今年は12月6日に実施します。各組の周辺清掃と分担地域や自治会館内外部の清掃をお願いします。詳細は既に自治会員へ回覧、ふれあい推進の団体代表へお願い、そして自治会に所属されていない所帯へは全戸配布などでお知らせしました。奮ってのご活動に期待しています。
- ・ 北公園の修繕整備完了
長らくご迷惑をお掛けしておりました北公園遊戯具及び公園境界柵・溝補修工事が完了し使用できるようになりました。



<http://www.kinugawadai.com/>

衣川台自治会のホームページ

皆様のページです。是非アクセスして下さい。

「衣川台だより」は皆様のお手元に白黒B5版サイズにての配布ですが本来はA4サイズカラー原稿で作成しています。

衣川台自治会のホームページにてぜひPDFカラー版をご覧ください。